

家事支援外国人受入事業 ポピンズが東京都の特定機関に！

株式会社ポピンズ(本社:東京都渋谷区 代表取締役 CEO 中村紀子、以下ポピンズ)は、2017年2月23日に、政府が国家戦略特別区域で進める家事支援外国人受入事業の「特定機関」として、東京都第三者管理協議会から認定され、東京都庁で行われた通知式で、小池百合子都知事より通知書を受け取りました。

今年創立30周年を迎えるポピンズは、日本で初めてナニーサービス(教育ベビーシッターサービス)をスタートさせるとともに、全国162ヶ所にわたる保育・教育施設の運営を通じて、幅広く子育て支援サービスを展開しています。ナニーサービスは昨年6月に最も優れたサービスに与えられる第1回「日本サービス大賞」において厚生労働大臣賞を受賞しました。高齢者向け在宅介護サービスも提供しケアに向き合っています。

ポピンズは女性活躍推進のためには、子育て支援や介護支援だけでは足りず、家事支援が不足をしていることから、2014年6月の政府の方針の発表以降、家事支援事業に本格参入をし「ポピンズ家事サービス」を立ち上げ、働く女性の環境づくりを目指しています。

今秋の東京都でのサービス開始に向け、提携をしているフィリピンの人材派遣会社大手マグサイサイグローバル社からは、約100人規模の大卒、看護師資格を持つプロフェッショナル人財を採用し、フィリピンで2ヶ月、日本で6週間、計540時間の教育・研修を早急に進めていきます。

なお、神奈川県からは認定を受けており、今夏サービスを開始、大阪市への参入も予定しています。

【写真】

本日東京都庁で行われた式典の様子
(右) 小池百合子東京都知事
(中) 松本洋平内閣副大臣
(左) ポピンズ代表取締役 CEO 中村紀子

